



ナマズがさわぐと地震が起こるって、本当なの

江戸時代に、そういう話があった

江戸時代に、ナマズの行動から、地震が起こることを察知して、家財道具を地震から守った人の話があります。

江戸に住んでいた、つりの好きな人が、ウナギをつるために川へ行きました。川へ行ってみると、ナマズがあばれていて、ウナギは1ぴきもつれませんでした。その人は、ナマズを3ぴきつって家に帰りました。

家に帰ってから、「ナマズがさわぐと地震が起こる」、という言い伝え思い出して、庭にむしろをひき、家財道具を運び出しました。すると、その夜に大地震が起こった、という話です。

いつも地震が起こるとはかぎらない

関東大地震(関東大震災)の前にも、ナマズがあばれていたのを見たとか、ナマズが異常なほど、たくさんとれすぎた、という話があったようです。

しかし、ナマズがあばれたからといって、必ず地震が起こるとは、かぎりません。ナマズは、地震の予知とは関係なく、あばれることも多いようです。

ナマズが、地震の前ぶれをとらえるかどうかの、研究が行われました。その結果、地震の前に、落ち着きがなくなることが、たびたびあったそうです。

地中には、地電流という、わずかな電流が流れています。地下で、岩石がぶつかりあったりするときに、エネルギーが発生すると、地電流は変化します。ナマズは、地電流に対して、すどく反応するようです。けれども、ナマズが前もって、地震が起きることを、知ることができるかどうかは、よくわかっていません。(監修・国司 真)

